

ローカルキャリアとは 4人の専門家と地方で働く、を語る。

ローカルキャリア？

地方と働く最前線の専門家と、UIターンして地方で働く
丹波市相談窓口メンバーが地方で働く、について対談



ローカルキャリア・オンライン対談 Movie一斉公開

日時：2020年 1月 1日（水）～ 1月 4日（土）

<オンライン対談動画・一斉公開>

- ①：1/1 13:00～ 宇野由里絵（一般社団法人 地域・人材共創機構CAREER FOR事務局）
- ②：1/2 13:00～ 塩沢 友孝（楽天地域活性部/共創事業部・ヴァイスゼネラルマネジャー）
- ③：1/3 13:00～ 伊藤 悠（パーソルキャリア（株）・LO活プロジェクト事業責任者）
- ③：1/4 13:00～ 柚木 理雄（（株）Little Japan代表/Hostel Life代表）

たんばの仕事

こちらのURL
で配信を予
定していま
す。→



オンラインでの取材も歓迎です！

この資料に関する
お問い合わせ先

※たんば”移充”テラス Turn Waveは、丹波市からの委託を受け、
スタッフ全員が子育て世代のUIターン経験者である、
一般社団法人Beが企画・運営をしています。

ローカルキャリア対談で、議論するテーマは??

Action どのような人材が地方で活躍するか? どのような選び方、考え方をすべきか?

全国的に地方移住への関心が高まる中、丹波市の移住相談窓口では移住した後の充実した暮らし「移充」についても、力を入れて取り組んで来ました。その中で特に若い世代、子育て世代が充実した暮らしを送るには仕事、つまりキャリアが肝心だと考えました。(実際に若い世代が移住しない理由の中で、満足いく仕事が見つからないという意見が上位にあります。)

改めて、実際に都市部からUIターンした相談窓口メンバーが、4人のローカルキャリア専門家と対談の中で、地方で活躍する人材、キャリアアップをしていける選び方について議論しました。それぞれ専門家は、地方に移住したり関わる仕事の中で活躍をされています。



宇野由里絵 (一般社団法人 地域・人材共創機構CAREER FOR事務局)

「ローカルキャリア白書」を出版した人材共創機構の事務局を務め、その他にも多数の地域事業に参画する。新卒で入社した東京三菱UFJ銀行からリクルートへ転職、その後島根県に移住し現在に至る、ローカルキャリア実践者。



塩沢 友孝 (楽天地域活性部/共創事業部・ヴァイスゼネラルマネジャー)

楽天株式会社の地域活性部の中で、楽天のデータベースを活用して地方課題を解決するための事業を行う部署の副責任者。地方を活性するために日々多くのプロジェクトに関わる中で自治体や民間事業者のサポートをしている。



伊藤 悠 (パーソルキャリア (株)・LO活プロジェクト事業責任者)

厚生労働省の委託事業「LO活プロジェクト」(Localへの就職活動支援)事業責任者。一度同社を退職し、地方で起業するため営業提案を行ったところ、出戻りの形で再入社、地方と都市部の就職ニーズを結ぶ事業を統括する。



柚木 理雄 ((株) Little Japan代表/Hostel Life代表)

元農林水産省のキャリアから、独立。農水省時代から続けているNPO活動や、東京のゲストハウスLittle Japan・月額定額で複数のホステルに泊まれるHostel Life等、地方と都市部の二拠点生活について知見がある。

ローカルキャリア、3つのポイント

Point 1 (スキル) : 都市部の仕事と違うスキル、都市部で磨いて地方で活躍するスキル

Point 2 (考え方) : どのような理由で地方を選ぶか、地方で働くことを選ぶか

Point 3 (拠点) : 住んで働く、移動して働く、都市部にいながら関わる、多拠点で関わる移住